

えちぜん 議会たより

vol.
71
2023.2.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



総合避難訓練 消防車の前で「はい！ポーズ」（はぎのこども園）

目次

12月定例会報告	2P～5P
議員6人が一般質問	6P～11P
【特集】GIGAスクール	12P～13P
議会議員視察研修報告	14P
出欠状況・表紙の写真	15P
タブレット端末操作研修	15P
がんばってます！・編集後記	16P



お正月あそび（羽根つき・けん玉）

12月定例会

会期 12月6日～9日

議員辞職

時田和一良議員から議員辞職願が提出され、11月30日付で議長が辞職を許可したことを報告した。

一部事務組合議員の補欠選挙

時田議員の辞職に伴い、鯖江広域衛生施設組合議会議員に欠員が生じたため、補欠選挙を行った。議長の指名推薦により、佐々木一郎議員が同組合議会の議員に当選した。

専決処分の承認

物価高騰に緊急支援

1億182万円

国の補助を受け、電気・ガス・食料品等の物価高騰に対し緊急に支援するため、低所得世帯（住民税非課税世帯）に給付金を給付する。

■給付額 5万円（1世帯）

泰澄の杜加圧給水ポンプ取替

390万円

泰澄の杜の加圧給水ポンプが経年劣化により故障したため、取替に係る工事請負費を計上する。

被災農地等の復旧

1,900万円

県の補助を受け、令和4年8月の大雨により被災した農地や農業用施設の復旧に係る工事請負費を計上する。

- 農地10ヶ所
- 農業用施設16ヶ所



畦畔崩壊による被害（中野地係）

被災林道の復旧

500万円

県の補助を受け、令和4年8月の大雨により被災した林道の崩土撤去や法面整形等に係る工事請負費を計上する。

- 林道上戸～広野線
- 林道湯屋ヶ谷線
- 林道平等～上山中線
- 林道金谷～横山線

織田デイサービスセンター 空調設備の改修

120万円

織田デイサービスセンターの入浴場の空調設備が経年劣化により故障したため、改修に係る工事請負費を計上する。

四ヶ浦小学校通学路の改修

300万円

県の補助を受け、四ヶ浦小学校の通学路となる町道（小樟城ヶ谷線）沿いの法面の危険箇所改修に係る工事請負費を計上する。



道路改修箇所（町道 小樟城ヶ谷線）

条例

越前町議会議員及び越前町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正を踏まえ、選挙運動に係る自動車の使用やビラ・ポスターの作成について、公費負担の限度額を改めるため、条例の一部を改正する。

■選挙運動用自動車借入れ（1日）

【現行】15,800円

【改正後】16,100円

■選挙運動用ビラ作成（1枚）

【現行】7円51銭

【改正後】7円73銭

越前町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

子ども医療費助成制度を拡充するため、「越前町子ども医療費の助成に関する条例」の一部を改正する。（令和5年4月1日適用）

【現行】未就学児は、自己負担なし

- 小学1年生から高校3年生相当までは一部自己負担あり

【改正後】高校3年生相当まで

自己負担なし

補正予算

勤労青少年ホーム解体

255万円

越前町勤労青少年ホームは耐震性がなく老朽化が著しいため、解体に係る工事設計委託料を計上する。

■ 建築年

昭和53年

■ 構造

鉄筋コンクリート造3階建



越前町勤労青少年ホーム

織田小学校空調設備入替

704万円

織田小学校ランチルームの空調設備の老朽化が著しいため、国の補助を受け、空調設備入替工事費を計上する。

全国大会等出場補助

150万円

全国大会等への出場選手や出場チームの増加に伴い、大会出場に係る費用（交通費・宿泊費）に対するスポーツ振興補助金を増額計上する。

配水管修繕・萩野配水場機器取替

489万円

朝日地区配水管の漏水や萩野配水場の電磁流量計が耐用年数超過による故障のため、取替に係る工事費を計上する。

「一般質問の映像配信をスタート

議会本会議は、これまで議場や本庁ロビーで開催時間に傍聴することができましたが、町民の皆さんに開かれた議会を目指すため、12月定例会から丹南ケーブルテレビによる録画放送のほか、越前町公式YouTubeチャンネルでの映像配信をスタートしました。

今後の丹南ケーブルテレビでの放送予定日は、定例会（3・6・9・12月）の開催月のケーブルテレビガイドでお知らせします。

また、越前町公式YouTubeチャンネルは、「越前町議会」で検索、または議会だよりの「各議員の一般質問」の上部にあるQRコードをスマホ等で読み取ることによって視聴することが出来ます。

12月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
承認第18号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町一般会計補正予算(第8号))	全会一致承認
承認第19号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町一般会計補正予算(第9号))	〃
承認第20号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町一般会計補正予算(第10号))	〃
議案第59号	人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致可決
議案第60号	越前町職員の定年引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	〃
議案第61号	越前町議会議員及び越前町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	〃
議案第62号	越前町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第63号	令和4年度越前町一般会計補正予算(第11号)	〃
議案第64号	令和4年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第65号	令和4年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第66号	令和4年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第67号	令和4年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第68号	令和4年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第69号	令和4年度越前町上水道事業会計補正予算(第4号)	〃

感染症対策事業



町民の生活を支えるため、必要な経費を計上する。

地域経済の活性化対策

● 生活交通路線維持支援 …………… 560万8千円

コロナ禍における路線バス利用者の減少に伴い、運賃減収分の一部を支援する。

- ・京福バス 27万4千円
- ・福井鉄道 533万4千円

● 定置網急潮被害緊急対策 …………… 1億429万1千円

急潮の影響により甚大な被害を受けた大型定置網の補修等に対する費用の一部を支援する。

● えちぜんちょう割の発行 …………… 1,725万円 (専決含む)

町内の消費行動を喚起し、地元小規模商店を支援するため、町内の参加店舗で利用できる電子クーポン「えちぜんちょう割」を追加発行する。

- ・税込み1,500円以上の会計で500円割引クーポンを発行



感染拡大の防止

● 避難所における空気清浄機購入 …………… 385万円

災害時等の避難所における感染症の拡大を防止するため、ウイルス除去に対応した空気清浄機を購入する。

- ・購入台数 空気清浄機(ウイルス除去機能付) 7台
- ・設置場所 宮崎・越前・織田コミュニティセンター
町生涯学習センター・町生涯学習センター糸生分館



新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、

物価高騰等に対する生活支援

● 子育て世帯への支援 …………… 5,473万4千円

食料品等の物価高騰の影響を受けている児童手当を受給する世帯（0歳～中学生がいる世帯）に対して、給付金を支給する。

- ・0歳の受給対象児童 1人当たり50,000円（約120人）
- ・1歳以上の受給対象児童 1人当たり20,000円（約2,400人）

● 保育所等への原油価格・物価高騰対策 …………… 262万2千円

価格高騰に伴い、光熱費等に影響を受けている町内の指定管理・私立保育園等に対して、支援金を交付する。

● 障害福祉サービス事業所等への原油価格・物価高騰対策 …… 120万円

価格高騰に伴い、光熱費等に影響を受けている町内の障害福祉サービス事業所等に対して、支援金を交付する。

● 介護サービス施設等への原油価格・物価高騰対策 …… 415万円

価格高騰に伴い、光熱費等に影響を受けている町内の介護サービス施設等に対して、支援金を交付する。

● 学校給食費の物価高騰対策 …………… 200万円

給食賄材料費の高騰分を負担し、給食の質を維持する。



ん質問

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像 QRコード 議事録 QRコード



吉田 憲行 議員

越前町における充実した学校教育環境の実現のための適正な学校規模の達成について

再編計画の速やかな実行を

吉田

平成21年に糸生中学校が朝日中学校に統合された経緯について伺う。また、その時の町全体での中学校再編に対する機運の高まりについて伺う。

教育委員会事務局長

統合された経緯について、平成13年度に朝日中学校の耐震診断を実施した結果「C判定」緊急度は「B判定」という診断を受け、その後、平成15年度に朝日中学校整備検討委員会を設置し開催したところ、委員会の答申が「糸生中学校との統合も視野に入れた移転新築が望ましい」ということで、翌年度には、中学校統合問題検討委員会を設置し協議を重ね、平成21年開校に至った。

また、学校再編に対する機運の高まりについて、朝日中学校と糸生中学校の統合を進める中で、朝日地区では、小学校においても児童数の減少などから再編の声もあったようだが、当時の理事者も着手の判断までには至らなかったようだ。他の地区においても、100人未満の小学校は萩野小学校のみであったため、学校再編の機運が高まらなかったと思われる。

吉田

「越前町小中学校再編基本方針(案)」の通りに、小中学校の再編スケジュールは進んでいるのか。

地区によっては、早く再編に着手してほしいという声が多いと聞いているが、そのような地区は、スケジュールを前倒して早めることはできないのか。

教育長

再編スケジュールについては、確実に前進していることは間違いないが、コロナ禍による懇談会の中断もあり、やや遅れ気味になっている。

また、各地区によっては再編に対する考え方や捉え方について温度差があるが、早く進めてほしいという意見が多数を占めるようであれば、スケジュールの前倒しについても前向きに検討していきたい。

吉田

学校教育環境の整備は、誰のための問題だと考えているか。

教育長

学校とは教育の場であるという視点から判断すれば、当然子どもたちのために整備するもの。教育委員会として、子どもたちにとってよい良い教育環境の提供を実現する

という強い気持ちを持って取り組んでいる。

ただし学校は、防災や子育ての拠点としての側面も持っていることから、地域の意向も十分に踏まえながら丁寧な再編を進めていく。

吉田

越前町小中学校再編基本方針(案)は、いつになったら(案)でなくなるのか。再編計画の見直し、例えば再編スケジュールの変更は考えていないのか。そして、再編計画を速やかに実行してもらえるのか、それは最短でいつなのか。

町長

再編基本方針(案)については、現在、地域の皆様と意見交換を行い、手順を踏んで作業を進めている。再編計画の見直しについても、スケジュールの変更や内容の変更を含め、各地区の意向を踏まえ必要と判断すれば柔軟に対応していく。

また、再編基本方針がまとまった後は、速やかに再編準備を進めたいと考えているが、現在は各地区で意見交換を行い合意形成を図っている段階なので、再編の具体的な時期については、ここで明言することはできない。ただし、再編の考え方において地区ごとの温度差が大きく、全体

の方針を固めるのに想定以上の時間を要するのであれば、地区単位で進めていくことも検討している。

子どもたちの教育環境の適正化を図ることは、最も重要な課題の一つと捉えており、これまで以上にスピード感を持って取り組んでいく。

吉田

将来、本町を支えていく児童・生徒のために充実した教育環境を実現することは、学業面、教育面で子どもたちの可能性を伸ばしていく施策である。

再編に対する方向性を確定して、児童、生徒、先生方、保護者、地域の皆様が安心して学び進めていけるよう、越前町全体の機運を高めるよう、素早く進めていくことをこの場で要望し、これからも進捗状況を確認していきたいと思う。





一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



高田 浩樹 議員

除雪の現状及び課題と体制等について

除雪体制の現状は？

高田

除雪計画や対策本部の運用など、除雪体制の現状について伺う。

建設理事

除雪計画については、道路や宅地造成、前年度の除雪に関する課題等を踏まえ毎年見直しを行っている。

除雪対策本部は、建設理事を本部長とし、毎年12月1日から翌年3月31日まで、除雪体制をとっている。

出動基準は、降雪深が車道除雪は10cm、歩道除雪は20cmである。今期は町内40社により、町保有除雪車33台、委託車46台、リース車4台の計83台の車両で対応。

出動にあたっては、鯖江丹生土木事務所と連絡を取り合い、効率的な除雪に努めている。

除雪体制の課題と対策は？

高田

除雪体制の課題と対策について伺う。

建設理事

除雪体制の課題には、除雪車の確保と、オペレーター不足の傾向にある除雪業者の確保とがある。

車両の確保については、町所有の除雪車とリース車を計画的に増台に努めていき、業者の確保については、町道除雪を土木工事等の入札参加資格条件に盛り込むなどの対策を講じている。

消雪や排雪に関する整備や運用の現状は？

高田

消雪設備、融雪剤、流雪溝など、消雪や排雪に関する整備や運用の現状について伺う。

建設理事

消雪設備については、家屋が連担し機械除雪が困難な区間や、消雪効果が高い区間の30路線、18kmが整備されている。

融雪剤については、凍結の予想される橋梁やトンネル、深いカーブなど町内10ヶ所に備えつけ、ドライバーが非常時に利用できるようにしている。

流雪溝については、特別に整備してはいないが、冬場に使用していない農業用水路に排雪できるよう水路の蓋を開閉式に交換した場所が多数ある。

排雪については、住宅密集地からの排雪に備え、天王川、越知川、織田川において、それぞれ県と町で排雪場所を確保している。

消雪設備の整備や更新の計画は？

高田

消雪設備の整備、更新に関する計画について伺う。

建設理事

消雪設備における国の事業採択基準は、狭隘な上に家屋が連続する道路で、かつ排雪場所がなく機械除雪が困難であることなどの要件に加え、近年、各自

地域との連携は？

高田

除雪に関しての地域との連携のあり方について伺う。

建設理事

住民の皆様に対しては、各区長、町の広報などを通して除雪に関する協力をお願いしている。

地域との連携やコミュニケーションが非常に大切なことは認識しており、今後は説明やお知らせに加え、除雪に関する要望を伺い、事前に協議するなど丁寧な対応を心がけていく。

歩行型除雪機の貸し出しは？

高田

歩行型除雪機の貸し出しの現状、課題と対策について伺う。

総務理事

貸出用の歩行型除雪機は、令和元年に本庁に1台、宮崎コミュニティセンターに1台、織田コミュニティセンターに2台の計4台を整備。これまでの貸出実績は、朝日地区で1回、織田地区で1回の計2回である。貸出申請が少ない要因として、制度の認知度が低いことがあると考

えられることから、今後、町の広報、ホームページ、区長会などを通じて、周知を図っていく。

除雪に関する方向性、今後の展開は？

高田

除雪に関する方向性、今後の展開について町長に伺う。

町長

今年度、除雪車両全車に位置情報システムを導入したことから、除雪状況の見える化により、効率的な除雪ができるよう強化した。

町では、普段から大雪を想定した体制をとり、全力で対応しているが、行政だけでは対応しきれない場合があることから、住民の皆様による地域ぐるみ・支えあいにより、雪に強いまちとなるよう努めていく。



ん質問

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード
議事録
QRコード



はせがわ まさえ 長谷川 眞恵 議員

高齢者の孤独死対策について

孤独死をなくす施策を

長谷川

我が国は超高齢社会の中にあり、当然のことながら本県・本町においても、人口の超高齢化が急速に進んでいる。超高齢社会は様々な深刻な問題を提起しているが、なかでも最も悲惨なのが「孤独死」である。本町の孤独死対策の取り組み状況について伺う。

町長

1つ目は、在宅の高齢者の異変をいち早く発見し対応するため、民生委員や町内3ヶ所の在宅介護支援センター職員が、高齢者のみ世帯や独り暮らし世帯を定期的に訪問し、声かけや困り事の相談に乗るなど、不安のある高齢者の見守りと安否確認を行っている。また、在宅高齢者で給食サービスを受けている世帯は、給食を配達するボランティアの方々により見守りが行われている。

2つ目は、急病や災害等の緊急事態に対応するため、独り暮らし高齢者などの世帯に、緊急通報システムを配備している。この装置は緊急通報ボタンを押すと、自動的に消防署に通報され、必要に応じ救急車が出動し、また通報された情報は介護福祉課にも共有され、親族へ

の連絡等の対応を行っている。

3つ目は、町内の金融機関や新聞販売店、電力会社、宅配業者など10事業者と地域見守り活動の協定を締結し、職員や配達員等が業務中に普段とは異なる様子であるなど何らかの異変を察知した場合、地域包括支援センターや介護福祉課、緊急の場合は警察署、消防署に通報する連絡体制を整えている。

長谷川

本町でも様々な施策を行っているが、超高齢社会の現代に、深刻な多くの問題を抱えている高齢者の支援の在り方を、今一度見直すことが必要であり次の3点を提案する。

1点目は、役場防災安全課を含む福祉関係各課や町内の関係機関、警察、人権擁護委員会、県健康福祉センター、居宅介護支援事業所、社協、民生委員・児童委員協議会、宅配業者等による「越前町地域見守りネットワーク」を組織し、定期的に情報を交換・共有して、支援が必要な対象者へ有機的、複合的、重層的にアプローチを行ったらどうか。

2点目は、ネットワーク会議では、多くの問題を抱える事例、いわゆる8050問題、7040問題、9060問題や虐待、生活困窮、閉じこもり、多重介護、独り暮らし、

認知症者、認知介護等困難事例を検討し、関係機関が役割分担をして、支援を行ったらどうか。

3点目は、ネットワーク会議のよな会議は、有名無実化しやすいもので、年に1回、事務的に定例会を開催しているところが多い。町行政が責任を持つて主催し、官民連携の下、実効力のある組織の構築を行ったらどうか。

これらの提案に対し、町長の所見を伺う。

町長

現在、町民や先ほど挙げた関係機関、役場関係課が連携し、高齢者の異変に気づいた時は、町が親族や場合によっては警察や消防とともに安否を確認し、孤独死を未然に防ぐよう対応している。議員提案のとおり、日頃から関係する者が顔を合わせ、事例の検討や意見交換を行って、それぞれの役割を認識することで、孤独死防止の意識を高め、より予防的・重層的な連携支援ができるようになると思う。

まず役場内の関係課において、孤独死をはじめ今後加速化する超高齢社会における課題や問題の対応策を検討するとともに、町内の高齢者や障害者、生活困窮者等への支援に対し、共通認識を高め、横のつながりを更に強化していきたい。

また、現在、城崎小学校区をモデル地区として、社会福祉協議会と協力し、地域住民による見守り等の支え合いを推進する「小規模なネットワーク活動」について、研究および協議を行っている。県内では大野市が市内全域でこの活動を活発に進めているので、本町でもこの優良事例を参考にし、町内全域で対応できる方策を検討している。

このような取り組みを通して、町や関係事業所、関係機関、更には地域住民との協働により、議員が提案された「地域見守りネットワーク」のような取り組みができれば、孤独死のみならず、これからますます増えることが懸念される老老介護や親族のいない独り暮らし高齢者、生活困窮者等の問題に対応できるものになる。今後も現在の体制を充実させ、必要な支援を行っていく。



城崎地区「小規模ネットワーク活動」



一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。

映像 QRコード
議事録 QRコード

いっば

木村 繁 議員

保育所等の送迎バスについて

子どもは町の宝、事故ゼロを

木村

静岡県で3歳の女の子が通園バスの車内に取り残され、亡くなるという事故が発生した。国は、再発防止に向けた緊急対策を決定し、車内での置き去りを防ぐために、令和5年4月より、送迎バスにブザーなどの「安全装置の設置」を義務づけた。また令和4年以内に、安全装置の仕様に関するガイドラインの策定を目指している。

町内には保育所等が12施設、小学校が12校あるが、通所や通学における安全上の現状と実態および国の緊急対策に向け、今後の対応と方向性について町長の所見を伺う。

町長

保育所等については、6施設が登園や降園に送迎バスを運行しており、延76人が利用している。今回静岡県内の事故を受け、12施設に対し安全管理・安全対策の徹底について周知および再確認した。更に、国が新たに策定した「バス送迎・安全徹底マニュアル」について周知し、点検を実施した。本町では、乗車・降車時に名前・座席、人数等の確認を行い、降車後に改めてバス内の見回りを行っている。

移住婚について

移住婚とは、都市部から地方に移住を希望する独身者に、結婚相手と移住先を同時にサポートする取り組み。

人口減少に期待「移住婚」

木村

移住婚は、2020年から「日本婚活支援協会」と地方自治体が連携事業として開始し、京都府全市のほか富山県氷見市など7市町が受入れを行っている。京都府が全国で初めて事業を導入し、府の婚活サポート「きょうと婚活応援センター」と同協会が協力し、無料で実施している。カプル成立後は、移住後の暮らしや就労などの支援もしている。

こうした取り組みの背景には、コロナ禍で地域移住に関心を寄せる人が増え、テレワークやワーケーションなどの働き方が身近になり、移住先の候補地として勤めるのが狙いで、人口減少の対策として期待されている。町の今後の取り組みについて、町長の所見を伺う。

町長

氷見市では、日本婚活支援協会に会費を支払い、協会から氷見市への移住と結婚を希望する方の紹介を受け、市独自の婚活サイト「それ

いけいひみ婚」の登録者とのマッチングを行っている。このような、独自の婚活マッチングシステムを構築していない本町においては、十分なマッチングやサポートを行うことは難しい。

本県には、県と全市町がチームとなつて結婚希望者のサポートを行う「ふくい結婚応援協議会」がある。この協議会は令和2年に設置され、現在は県の結婚応援サイト「婚活カフェ」を運営しながら、マッチングシステムの運用や相談、各種婚活イベント等を行っている。昨年度の登録者数は、男性752人、女性429人で、成婚は4組あった。そのうち本町の登録者数は、男性14人、女性12人で、成婚はなかった。

このマッチングシステム等を活用し、何かできることはないか協議会に相談をしたいと思う。

2020年に国が行った調査で、東京圏に住む人の約5割が地方移住に関心を持ち、また若い人ほどその関心が高いという結果が出ている。今後の町の移住促進や婚活事業を進めるにあたって、移住婚という考えも踏まえつつ、本町に住んでみたいと思えるような魅力ある施策に取り組んでいきたい。

ん質問



一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード
議事録
QRコード



石田 和朗 議員

チヨイソコえちぜんの現状は

石田

令和4年4月からデマンドタクシー「チヨイソコえちぜん」の運行がスタートした。「ちよいとそこまで」をコンセプトに、お年寄りの方などの移動手段として運行予約があった場合に、自宅と指定停留所間をドアツードアで運行する乗り合いタクシーである。運行開始からまだ半年余りしかたっていないが、実態はどうか。現在の運行車両の保有台数と利用者数の実績はどれだけか。また、町民からの問い合わせなどがあるのか、町長の所見を伺う。

町長

経緯
コミュニティバスは、町内の交通空白地帯をなくし、お年寄りなど交通弱者の移動手段を確保することを目的に、平成18年から運行を開始した。以降、聞き取り調査などを通じて町民の声を聞き、そのニーズを反映した路線の見直しやバスの新設、無料運行の実施など利用促進に努めてきたが、年間利用者が減少するとともに行政負担が増加したため、運行形態の抜本的見直しが喫緊の課題となっていた。

このような状況を踏まえ、路線バ

スを含めた持続可能な公共交通を実現するため、地域住民、交通事業者、関係行政機関などによる「越前町地域公共交通活性化協議会」を開催し、新たな「越前町地域公共交通計画」を策定した。

計画では、比較的安定した利用が見られる環状ルート、越前地区の巡回ルートおよび乗り合いルートについては、ダイヤの見直しなどにより運行を継続することとし、利用が低迷している朝日地区、宮崎地区、織田地区の巡回ルートおよび乗り合いルートは廃止し、デマンド運行を新設すると定めた。そして、令和3年に協議会で承認をいただき、令和4年4月から「チヨイソコえちぜん」の運行がスタートした。

保有台数

運行車両は朝日区域、宮崎・織田区域ともに2台で、1号車は町が購入した6人乗りの車両で、2号車はタクシー事業者が所有する3人乗りの車両である。

利用者数

利用登録者は11月末現在で229人、延べ利用者数は796人で、利用者の約9割が70歳以上の方である。

町民の声

町民からは、土日の運行や予約の時間帯などについて問い合わせがある。また、料金については、70歳以上の方のコミュニティバス1乗車料金100円に比べ「400円という料金設定は高い」という方がいる一方、「ドアツードアのおかげで大変便利に利用させてもらっている」という方もいる。

交通体系のネットワーク

本町の交通体系は路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーがそれぞれ運行しており、そのほか民間のタクシーも利用できる。路線バスは通勤・通学などの広域の移動手段、コミュニティバスは地区をまたぐ移動手段、デマンドタクシーは地域内の移動手段としてそれぞれの役割を明確にし、ネットワークを構築している。

区域を越えての運行を

石田

チヨイソコえちぜんは、宮崎・織田区域と朝日区域の2つの区域があり、運行範囲はそれぞれの区域内に限定され、例えば、朝日地区の町民は織田病院に乗り換えなしで直接行くことができない。現在の運行形態になるまで、何度も会議を重ね、試行錯

誤のうえ運行に至ったと思うが、せめて越前町役場と織田病院は、越境乗り換えなしという特例や改善の余地はないのか、町長の所見を伺う。

町長

朝日から織田病院、織田から役場への移動は路線バス、コミュニティバスの環状ルートがその役割を担っている。ネットワークの役割を侵すような運行、例えば、デマンドタクシーを区域を越えて運行することは、路線バスやコミュニティバスと競合することになり、路線バスの廃止にもつながりかねない。路線バス利用者が減少して減便やバス事業者が撤退するような事態を招くことは絶対に避けなければならぬ。したがって、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーの連携・共存が求められる中、区域をまたぐデマンドタクシーの運行はできない。いずれにせよ、運行がスタートしてまだ1年を経過しておらず、利用者も徐々に増加していることから、今後も利用者の声を聞きながら改善できるところは改善し、利用促進に努めていく。





一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。

映像 QRコード
議事録 QRコード

いっば

伊部 良美 議員

新幹線金沢敦賀間の開業に伴う新駅周辺整備のモニュメントの設置について

越前がにのモニュメント設置を

伊部

北陸新幹線の金沢敦賀間の開業に伴い新駅舎が建設され、本町に特に利用される福井駅や越前たけふ駅は、ほぼ完成している。

福井駅には恐竜のモニュメントが設置してあり、同じように、本町のPRになるため越前たけふ駅に、県の魚と花である「越前がにや越前水仙のモニュメント」を設置していただきたいが、町長の所見を伺う。

町長

本町の海岸線には、越前がにや水仙の郷のモニュメントが幾つも設置されており、本町を訪れた方に、越前がにや越前水仙の本場である越前町を強くPRしていると考える。このため、越前たけふ駅に限らず、新たなモニュメントの設置は現時点で必要ないものと考ええる。

伊部

福井市に、モニュメントの設置およびポスター掲示など、誘客に対して効果を生み出す政策について協力をお願いしたい。

越前市に、モニュメントの設置について要請したところ賛同をいただき、県のブランド課においても、前向きに検討するという返事をいただいた。

全国豊かな海づくり大会の誘致について

全国豊かな海づくり大会を越前町で

伊部

令和4年11月に「全国豊かな海づくり大会」が兵庫県明石市で盛大に行われた。本町の越前がにを誇る漁場を死守するため、また県と本町の漁業の発展のため、この大会を誘致し、町漁業組合や水産業者と協力して本町で大会が開催されるように働きかけてほしいが、町長の所見を伺う。

町長

この大会は天皇・皇后両陛下をお迎えし、県が主体となって執り行われる4大行幸啓の一つで、これまで41回開催され、令和9年まで開催県が内定している。本県は、昭和61年に小浜市を会場に開催された。

本県で開催となれば、県をはじめ開催市町の水産振興の取り組みを全国にPRできるすばらしい機会である。その一方、開催市町は4億から6億円の開催経費の1割程度を負担し、更に環境の整備費用も負担することになる。また、開催の3年前には本格的な準備を始めることになり、主催する県職員を派遣したところもある。

このような中、杉本県知事は令

全国豊かな海づくり大会の誘致について

全国豊かな海づくり大会の誘致について

伊部

和4年9月の県議会定例会の一般質問において、本県の開催誘致について前向きな考えを示された。開催市町については未定とのことだが、開催地の経済効果と経費や人員面での負担を考慮すると、本町の誘致については非常に難しい。

伊部

町漁業組合において、念願であったドック場の建設も県の協力で完成することができた。今後は、漁連と町漁業協同組合がタイアップし、嶺北地方の結集されたハザップ建設の計画がされ、早期実現を目指されている。

町長

是非、海づくり大会の開催を県と協力して実現していただきたい。

町長

県や県漁連において組織の再編などを計画していること、また町漁業協同組合における上架施設は本年度完成し、高度衛生管理型の市場施設は令和8年度頃の着工を目指していることと聞いている。予定どおりに整備が進めば、海づくり大会を誘致する一因になると考えるが、大会経費の負担に充てられる財源も見当たらない中、誘致は見送らざるを得ない。

なお、他市町での開催となった場合は県からの要請には協力していく。

スクール」を 視察訪問

10月26日

本町では、令和2年から ICT 機器の活用を基盤とした新しい教育環境を整え、現在では町内の小中学校でタブレット学習が行われています。そこで、議会総務文教厚生常任委員会委員が「GIGA スクール構想」に基づく整備状況や授業での ICT 機器の活用状況などを把握するため、町内の小中学校を訪問しました。

町の整備計画

GIGAスクール構想環境整備事業費

令和2年度 小学校… 約2億1,600万円
中学校… 約1億1,400万円

- ・高速大容量の通信ネットワークの整備
- ・小中学校の児童生徒1人に1台のタブレット端末の整備
- ・各教科の学習に活用できる授業支援ソフト導入
- ・校外学習などで使用するためのモバイル Wi-Fi の整備

令和3年度 小学校…………… 約5,200万円
中学校…………… 約2,600万円

- ・タブレット端末を効果的に活用するため、普通教室と特別教室に大型提示装置（電子黒板）を整備

どんな風に使っているの？

小学校

- ・学習発表会の資料をパワーポイントで作成
- ・プログラミング
- ・校外学習でタブレットのカメラを使用し、植物を撮影 など

中学校

- ・休んでいる生徒へのオンライン配信や連絡
- ・ハードル走のフォームを動画で録画・確認
- ・オンラインでの企業訪問
- ・Teams での海外との交流 など

特集

「GIGA」

視察して気付いたことは？

- ・各学校で創意工夫しながらICT機器を活用しており、それぞれの特色がある
- ・電子黒板と1人1台の端末で学習する教室の風景に衝撃
- ・楽しくタブレット端末を操作している
- ・電子黒板のため、教室がスッキリしている
- ・全科目に汎用しており、タブレット端末は近代文房具と再認識した

課題は？

- ・ICT機器の活用にあたり、学校の先生に依存している部分が多くみられた
- ・故障した際に迅速な対応をしなければ、授業によって支障をきたすことがある
- ・インターネットは情報が豊富で、「考えよう」とする力が弱くならないか心配
- ・学校間によりパソコン操作のレベルと授業の進捗に差が出てくるのではないか

意見は？

- ・授業などICT機器の活用の幅を更に広げていく施策が必要
- ・小学校において、もっと色々な授業で活用すべき
- ・情報革命の中での健全な子どもの育成は大人の責任である
- ・デジタル教育により、これからのデジタル社会に順応できる「越前っ子」を育てていくことは大切である。しかし、同時にアナログ教育も大切にしていきたい
- ・コロナ禍にも対応できていて、心配していた懸念がなくなった

令和4年度 越前町議会議員視察研修報告書

今回の研修は、「健幸都市こもろ」を目指している長野県小諸市と、令和4年10月に「地域DMO法人」に登録された長野県松川町を訪問し、越前町のまちづくりの参考にしようとする先進地の視察研修を行いました。今回の視察で得たものを、今後の本町の行政に反映させていきたいと思えます。

●視察先

長野県小諸市

小諸市は、「健幸都市こもろ（小諸版ウエルネス・シティ）」を目指し、健康（ヘルス）に限定されない「ウエルネス」として、あらゆる分野において「健康」・「健全」であることで選ばれるまちであるとともに、快適で心地よい場所、自分に還れる場所としての「ウエルネス・サード・プレイス」という概念を取り入れている。

今後も総合計画の6つの政策の柱との融合を図りながら、「健幸都市こもろ」の実現に向け、市の魅力に磨きをかけながら市民と協働の各種施策や事業を実践している。

長野県松川町

松川町は、少子高齢化や人口減少といった社会的課題を背景に、観光を手段としたまちづくりにより地方創生を実現することを目指している。

「くだものの里」まつかわの果物観光に加え、歴史や自然体験など、地域の観光資源を活かした「滞在交流型」観光の推進や、地域全体の観光マネジメントを一元的に担うことを目的に、平成30年に「一般社団法人南信州まつかわ観光まちづくりセンター」を設立している。センターは令和4年10月に、観光庁の「日本版DMO法人」に登録されている。

●視察内容

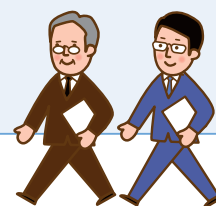
- ・小諸市 「健幸都市こもろ」とは
- ・松川町 「観光地域づくり」の事業戦略と取り組み

●参加者

議員14名、町長、事務局3名

●日程

令和4年10月13日（木）～15日（土）



長野県小諸市

直近の市の働き

- ・小諸駅前にサテライトオフィスの設置
- ・企業の誘致
- ・複合型中心拠点誘致施設のオープン

ウエルネス・サードプレイスの展開

自然や気候、歴史を活かした癒しと醸しの文化の融合を戦略として、産業振興・観光事業の展開を進めている。

関係人口と定住人口の創出

コロナ禍により、移住者の増加や社会構造の変革による関係人口の増加により、多くの人たち（未来を創る多様な人材）が町づくりに浸透し始めている。

地元住民が小諸を知り、好きになって、誇りに思い行動することによって、より発展につながっている。



長野県松川町

観光交流のポテンシャル

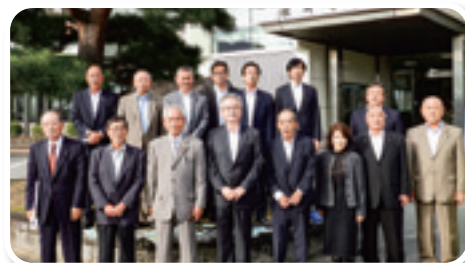
- ・百以上の個人の観光農園（果物の町）
- ・6次産業化の起業（ワイナリー3醸造所）
- ・若手農業者（後継者、新規就農）の存在

観光地域づくりの事業戦略

- ・来訪者と地域住民とが繋がる「滞在交流」
- ・過・泊・食のワンストップコーディネート
- ・100年後にも残したい「地域ブランド形成」

事業内容の取り組み

- ・「まつかわ旅の案内所」にて、個人にピッタリの宿や過ごし方を提案
- ・果樹園を独り占めしてランチを楽しむ「ガストロノミーツーリズム企画」
- ・農家のおばあちゃんと豆腐づくり等「だんだん好きになる旅プログラム」



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

9月17日～12月9日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	笠原 議長	佐々木 副議長	小松 議員	時田 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	藤野 議員	米沢 議員	伊部 議員	木村 議員	北島 議員
9	21	水	町村議会広報研修会(東京)	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	3	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	木	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	△	○	-	○	○	-	-	-
	7	金	嶺北町村議会議長会議員研修会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	火	公立丹南病院組合議会行政視察	-	×	-	-	-	×	-	-	-	-	○	○	-
	12	水	(京都府・三重県)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	木	越前町議会議員視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	金	(長野県)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	土		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	17	月	議会広報特別委員会	-	-	×	○	○	○	○	-	×	○	-	-	-
			鯖江・丹生消防組合議員視察研修(大阪府)	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	18	火	鯖江・丹生消防組合議員視察研修(兵庫県)	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	24	月	福井県市町議会議員合同研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	26	水	総務文教厚生常任委員会(学校訪問)	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-
			町村監査功労者表彰式・研修会(東京)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	27	木	町村監査委員全国研修会(東京)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	28	金	丹南地区市町議会議長会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
	31	月	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
	1	火	福井県丹南広域組合議会議員	×	-	-	-	×	-	-	○	-	-	-	-	○
	2	水	視察研修(長野県)	×	-	-	-	×	-	-	○	-	-	-	-	○
	7	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	8	火	鯖江広域衛生施設組合議会議員	-	-	-	×	○	○	-	-	-	○	-	-	-
	9	水	行政視察(岐阜県・三重県)	-	-	-	×	○	○	-	-	-	○	-	-	-
	21	月	鯖江・丹生消防組合臨時議会	-	-	×	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	29	火	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
	5	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	6	火	12月定例会 本会議(1日目)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	水	12月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	8	木	12月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	9	金	12月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
			議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	×	○	-	○	○	-	-	-



表紙の写真 はげのじいも園(細野)

(上段写真) 総合避難訓練の後、消防音楽隊のコンサートや寸劇を楽しみました。「はい！ポーズ☆」で、かっこいい消防車の前で記念撮影。消防士にあこがれている園児さんもあり、良い思い出のひとつとなりました。

(下段写真) 冬の寒さもなんのそのー冬休み明けに「お正月あそび」を楽しみました。こま回し・羽根つき・けん玉・カルタ取りなど、毎日熱中して取り組みましたよ。今年も、みんな元気で健やかに過ごしてほしいですね。

12/16

タブレット端末研修会

当議会はICT化の推進を図っており、電子データの活用によるペーパーレス会議の導入に向け、議会活性化特別委員会において「タブレット端末の研修会」を行いました。

議会本会議や全員協議会等でタブレット端末を活用し、ペーパーレス会議を導入することで準備にかかる作業の費用や用紙代などの費用を大幅に削減することができそうです。

更にスキルアップを図るため、今後も定期的に研修会を行います。





自己紹介をお願いします
私たちは、町の手話奉仕員養成講座を受講したメンバーで、学習した手話を忘れないようにと2021年6月に手話サークル「クローバー」を結成しました。



Interview activities



活動内容について 教えてください
聴覚障がいの方を講師に迎え、現在男女10名のメンバーで、毎月第1・第3火曜日の午後7時から8時30分まで、織田コミュニティセンターで楽しく、手話の学習会をしています。
「手話奉仕員養成講座で学んだ手話を忘れないため」や「手話をステップアップさせたい」など、みんな目的は様々ですが、聴覚障がいの方々と手話で楽しくスムーズに会話ができる事を目標としています。



最後に一言お願いします

無理せず、続ける事をモットーに、講師のユーモアを交えた指導で笑いの絶えないサークルです。私たちと一緒に、ゆる〜く手話を学びませんか？

お気軽にお問い合わせください。
(インタビューアー 藤野)

お問い合わせ
上坂 明子
090-2838-8690

傍聴席へどうぞ 次の定例会は3月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

12月4日に「えちぜん男女共同参画・青少年健全育成のつどい」が初めて共催で開催され、多様化するメディアについての講演が行われました。昔は「メディア」といえば、新聞やテレビ、ラジオ放送でした。現在はそれに加えて、スマートフォンやタブレットでのSNSやフェイスブックなど多様化しており、現代の子ども達は情報化社会の中で生きています。

最近ではコロナ禍ということもあり、オンラインでの授業や会議が行われ、人と人が対面して会話する機会が少なくなってきています。今後もデジタル化が急激に進み、人と人との繋がりがやコミュニケーションが失われていくことが懸念されます。
(中西)

議会広報特別委員会

- 委員長 藤野 菊信
- 副委員長 小松 高宏
- 委員 米沢 康彦
- 中 西 清彦
- 長谷川 眞 恵
- 石田 和 朗
- 吉田 憲 行

町ホームページ QRコード



(スマートフォン用)

町LINE QRコード



(スマートフォン用)

町公式動画チャンネル QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町ホームページ 議会QRコード



(スマートフォン用)

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です